



発行日：2012年10月31日

発行者：船場地区HOPEゾーン協議会

編集長：藤原久恵（協議会理事）

## 船場の木造建築MAPが完成しました。

「船場の木造建築MAP」が堂々完成！協議会HPに掲載中の「まちなみみどろこMAP（近代建築編）」や平成22年度に発刊した「船場の戦後ビルMAP」に続くものです。船場博覧会2011で好評を博した「船場の木造建築展」の内容も取り入れた船場の魅力が満載のマップです。

「近代建築、戦後ビルに続く、船場の魅力を発掘しよう!」と、協議会・近代建築等部会メンバーが中心となって、船場の木造建築を探索。最初は、半信半疑だったメンバーも、探索が進むにつれ、船場の新たなまちなみ資源「木造建築」の魅力と価値を実感し、多くの方々に伝えたい!!という熱い気持ちで「船場の木造建築MAP」を作成しました。

近世の大阪は、豊臣秀吉が建設した城下町を基本にしていますが、徳川政権下では、「天下の台所」と称され、全国の物産が集まり活発な取引がなされる商都として、上町台地に築かれた大坂城を基点に、西、つまり船場・島之内から大阪湾方向へ発展しました。そのため大坂の道路は、東西方向を主道路として「通り」、南北方向を副道路として「筋」と呼ばれています。近代に入り、軒切りによって堺筋・御堂筋などが拡幅され、近代都市大阪は南北方向に発展するようになります。そのため、伝統的な木造建築は東西方向の通りに、また近代的なビルなどは南北方向の堺筋・御堂筋などに建築されていることが分かります。

近世・近代を通じて発展した船場の町も諸建築群も、度重なる火災、ことに第二次世界大戦の空襲でその多くが失われました。現在残されている伝統的な木造建築は、壊されると二度と作ることができないといっても過言ではありません。

お勧めの木造建築17件の写真入り解説など他では無い充実した内容となっています。さあ、マップを手に入れて、船場のまちなみ魅力を再発見してみてください!ご希望の方は、お近くの役員にお声がけください。1部100円（実費相当・活動賛助金として）でお渡ししています。



## 修景補助制度について

### 大阪市まちなみ修景補助制度とは?

船場地区のまちなみガイドライン「船場のまちなみ作法」で提案している、船場ならではの「花なりしたまちなみづくり」の実現に向けた大阪市のサポート策で、船場地区においては、

- ・近代建築の再生・活用に関する修景整備
- ・通・筋、エリアの個性を活かしたオープンスペースや建物の修景整備※

に取り組みされる際に、一定の要件を満たせば、その工事費の一部を市が補助するというものです。

協議会では、この制度が不公平感なく、より効果的に、みんなが納得できる修景整備に活用されるよう、建物等の所有者の皆さんと情報交換しながら、各年度毎に修景補助対象物件の調整（修景内容や順番など）等を行っていきたく考えていますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひします。

この制度に「ちょっと興味がある」、「話が聞きたい」という方は、協議会役員までお気軽にご相談ください!

具体的な補助対象や補助金の限度額等については、  
大阪市都市整備局住宅政策課(まちづくり事業企画)  
Tel.06-6208-9222まで

## 会員募集中

「船場」ならではの魅力を活かしたまちなみづくりをめざして、一緒に活動しませんか?

船場地区HOPEゾーン協議会では、具体的なまちなみづくり活動を進めていく上で、参加・協力・支援いただける仲間を募集しています。

登録会員（登録料無料）もしくは、賛助会員（年会費必要）に登録いただいた方には、協議会の活動情報をお届けします。船場のまちなみづくり・まちづくりに興味がある!という方、ぜひ、ご登録ください。

※詳細につきましては、お近くの役員または協議会ホームページ [semba-hope.main.jp](http://semba-hope.main.jp) をご覧ください。

11月末までに賛助会員（年会費必要）のお申込をいただくと協議会グッズをプレゼントしています。この機会にぜひお申込みを!  
なお、船場博覧会2012会場でも受付可能です。

HOPEゾーン事業の詳細や補助制度の具体的な内容については、  
大阪市 都市整備局 企画部 住宅政策課(まちづくり事業企画)  
Tel. 06-6208-9222 e-mail. ka0001@city.osaka.lg.jp までお問合せください。

ええもん発見!!

ええもん  
発見!! 17

瓦町一丁目  
岸本瓦町邸

きしもとかわらまちてい  
瓦町1-2-1



昇る朝日を浴びると外壁のクリーム色が輝きを増す岸本瓦町邸。天保2年(1831)創業の鉄商、岸本商店の5代目岸本吉左衛門の本邸として、昭和6年(1931)に建設されました。鉄筋コンクリート造2階建て、屋根が平らなフラットルーフ、縦横に走るシンプルで力強い直線と大小の箱を組み合わせたようなシルエットがモダンな様式美を醸し出しています。設計は住友工作部の笹川慎一。石貼りの外壁には、前年完成の北浜の住友ビルディングと同じ崑山石が使われ、外壁の目地意匠に類似性があります。平成10年(1998)、国登録有形文化財に登録されました。邸内は非公開ですが、各部屋にマントルピース(暖炉)を設置、英国調の重厚な空間づくりの配慮が行き届き、階段室の窓のステンドグラスは空間を華やかで豊かなものにしています。本邸が建設される以前には、蔵が立ち並んでいて東横堀川で運んできた船荷を陸揚げし、その蔵で保管していたそうです。蔵から近代ビルへモダン大阪の勢いが東横堀川の景色を変えていったようです。

ええもん  
発見!! 18

平野町一丁目  
大阪の駿河屋本店

おおさかのするがやほんてん  
平野町1-8-13

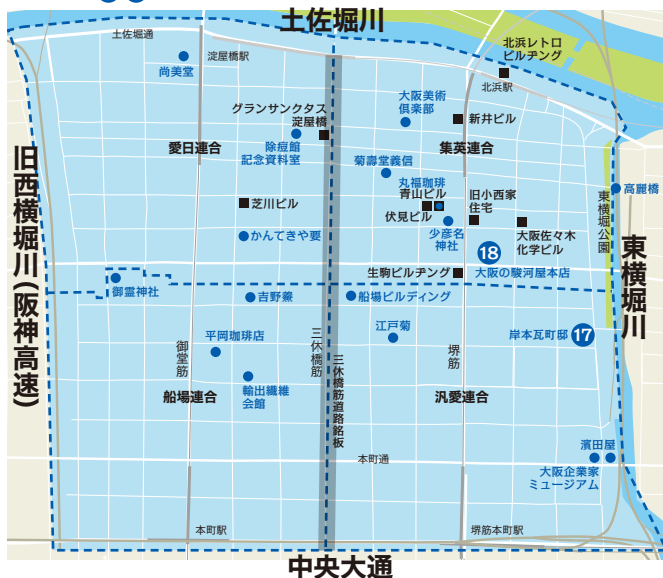


天正17年(1589)京都伏見の鶴屋にて羊羹が創案され伏見羊羹の名で売り出されました。その後、紀州公の要請で和歌山店を開き、5代将軍・綱吉のご息女「鶴姫」が嫁いできたときに屋号を返上し駿河屋と改名されました。天保8年(1837)和歌山の総本家・駿河屋から分家して船場淡路町に大阪店が開かれ、現在は平野町にあります。そういった歴史から「大阪の駿河屋」が正式名称です。浪速に愛され続けた古来からの伝統の羊羹と和菓子が楽しめます。

▶ ええもん発見!!は、地域の皆さん、会員の皆さんのご推薦からピックアップしてご紹介しています。お近くの役員またはメール [info@semba-hope.main.jp](mailto:info@semba-hope.main.jp) にてご意見をお寄せください。

船場地区HOPEゾーン事業対象エリア

[約126ha] ● 17 ● 18 ええもん発見!! ■ まちなみ修景



船場地区HOPEゾーン協議会  
第5回総会

平成24年6月5日(火)辰野ひらのまちギャラリーにて開催

本年度で5回目を数える総会。来賓の方々も含め前回を上回る55人のご出席をいただきました。まず始めに、平成23年度にまちなみ修景を行った建物オーナーの方々へ感謝状を贈呈し、まちなみづくりへの思いなどを一言ずついただきました。各オーナー様の思いを伺うなか、協議会役員も胸が熱くなりました。



議事の平成23年度の活動及び決算報告、平成24年度の活動及び予算案について、承認されました。ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。総会の資料は、協議会ホームページからご確認いただけます。

▶ [semba-hope.main.jp](http://semba-hope.main.jp)



恒例! 船場・秋の祭典  
船場博覧会2012

平成24年11月19日(月)~23日(金・祝)



昨年に引き続き、まちのcommons実行委員会、堺筋アメニティ・ソサエティをはじめ、船場で活躍するみなさんとタイアップして行われる船場博覧会。今年も5日間に渡って、船場の魅力をたっぷりとお届けいたします!メイン会場となるひらのまちギャラリーの展示テーマは「船場のステンドグラス」。「大大阪」時代の活気を感じさせる、船場の近代建築に残るステンドグラスの魅力を存分にお伝えします。船場の魅力的な建物ツアーなど、盛りだくさんの企画で皆様をお迎えします。イベントの詳細い内容については、HPや博覧会冊子で!!

船場博覧会2012 詳細情報はWEBで!

[semba-hope.main.jp](http://semba-hope.main.jp) 船場博覧会2012 検索

船場地区HOPEゾーン協議会

平成24年9月30日現在

役員一覧

会長	大橋 達夫	集英連合振興町会 会長
副会長	橋本 英男	船場連合振興町会 会長
	川上 潤	愛日連合振興町会 環境衛生部長
事務局長	別所 俊顕	少彦名神社 宮司
会計	村橋 紗知	伏見ビル、ギャラリーもす
理事	池田 吉孝	高麗橋2丁目 町会長
	小西 哲夫	コニシ株式会社 取締役
	澤田 充	北船場くらぶ 事務局
	宿谷 良一	株式会社ヤラカス館 専務取締役
	日比 哲夫	船場げんきの会 副代表世話人
	藤原 久恵	汎愛連合振興町会 総務部長
	戸國 剛	堺筋アメニティ・ソサエティ 事務局
	守田 宣昭	三休橋筋商業協同組合
	稲村 栄一	大阪ガス株式会社 近畿圏部長

編集後記

船場地区HOPEゾーン協議会NEWSも10号となりました。今号の平野町駿河屋さんの記事作成につき古い資料を見せていただきました。明治の時代に羊かんの商品券があったりと歴史と斬新さを感じました。大阪の活力を重厚な建物の岸本邸から感じて頂けるとうれしいです。11月には、船場博覧会と神農さんとまち歩きチャンスがありますのでぜひ足を運んでみてください。(編集長・藤原)

